おかげさまで35周年

市川市動植物園ヒストリー

動植物園は開園して35年。この間には、たくさんの思い出がつまっています。そこで、それらの出来事を年表にまとめました。
動植物園の歴史を知るとまた違った楽しみ方ができるかもしれません。
問 ☎338-1960動植物園

1986年

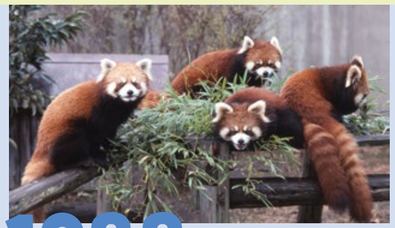
動植物園の人気者 レッサーパンダがやってくる

中国・楽山市から友好都市締結を記念して2頭のシセンレッサーパンダ（オスの真真（シンシン）、メスの誠誠（セイセイ））、2羽の赤腹金鶏鳥（あかはらきんけいちょう）が寄贈されました。

河合 獣医師

1986年当時、レッサーパンダは知名度の低い動物でした。飼育方法もまだ確立されておらず餌についても試行錯誤の状態。国内・中国の動物園数カ所を視察し、得られた情報を基に工夫して作りました。果物中心の流動食をおいしそうに食べてくれた時にはホッと胸をなで下ろしたものです。この経験が本市のレッサーパンダ飼育の礎（いしずえ）となり現在まで脈々と引き継がれています。

▲誠誠　▲真真



1988年～

レッサーパンダ黄金期到来

初めての出産は死産でしたが、1988年以降真真と誠誠の間には5年連続7頭もの子どもが生まれました。無事に子孫を残してくれたことは現在の動植物園のレッサーパンダ繁栄の礎となっています。

1992年

かわいい“親善大使”が到着

姉妹都市のインドネシア・メダン市から両市の“友好の証し”としてスマトラオランウータンが贈られ、本市からはニホンザル4頭を贈りました。名前はオスのイーバン、メスのスーミー。

▲スーミー　▲イーバン

2003年

イーバンとスーミーの間に子どもが誕生

来園から10年。2頭の間に待望の赤ちゃんが生まれました。名前は「ウータン」、男の子。自然界でも飼育下でも頭数が非常に少ないスマトラオランウータンの誕生は日本の動物園にとって明るい希望となりました。

2008年

ニホンザル、オトメの人工哺育（ほいく）

サル山で1頭のメスの子ザル「オトメ」が生まれました。しかし、近くにお母さんがおらず、人工哺育に。その後、オトメはお母さん代わりのクマのぬいぐるみを持ち、サル山の仲間になるため、群れの中で奮闘。ぬいぐるみの助けもあり、無事に仲間になることができました。今では立派なお母さんです。

2012年

オリジナル遊具「流しカワウソ」設置

開園25周年を迎えた2012年、コツメカワウソの家族が10頭に増え、展示場を拡張することに。そこで「動物もお客様も一緒に楽しめる工夫はできないか」と遊具を作成しました。

水品 園長

私たちは動物園人として、動物たちが限られた環境下でも「健康で健全な生活」が送れるよう努力する責任があります。また、訪れたみなさんにはその動物たちの暮らしぶりを知っていただき魅力的に感じてもらうことも重要な使命です。この両立が難しいのですが、当時の担当者やカワウソ好きな来園者の方々と試行錯誤を繰り返した結果、カワウソたちから OKをもらった（自発的に遊んでくれた）のが、この「流しカワウソ」だったのです。

2021年

モコモコな愛らしい仲間がやってくる

4月5日、山古志（やまこし）アルパカ牧場からアルパカが3頭やってきました。アルパカたちの愛称は投票によって決められ、「おはぎ・マシュ・チャッピー」と名付けられました。同年12月13日には同じく愛称を投票によって決めた「メイプル・もちち・ホイップ」の3頭も来園。夏前の毛刈りの時期には一風変わった姿を見ることができます。

▲毛刈りの様子は市公式YouTubeチャンネルで視聴いただけます

2022年

屋内型新エリア「なかよしルーム」オープン

マイクロブタが6匹やってきました。レストハウス3階「なかよしルーム」で触れ合うことができます。愛称は「わらび・ごま・みたらし・あんこ・しらたま・きび」。

小野 飼育員

マイクロブタは名前の通り小型のブタですが、マイクロといっても大人になると最大40kgと意外と大きくなり、ブタらしいぽてっとした体が魅力的です。現在なかよしルームでは6匹が暮らしており、それぞれ柄だけではなく性格も違うところもポイントです。ただ共通しているのはどのブタも人懐っこく、居心地の良い場所を求めて、お客様の膝の上に自ら出向きます。その姿を見ればお客様の心もマイクロブタのとりこになってしまうでしょう。

動植物園公式LINEスタンプ販売開始

飼育員お手製のユニークなスタンプ（40種類）です。動植物園のかわいい仲間たちが大集合。下記2次元コードからダウンロードできます。

¥120円

▲ダウンロードはこちらから

かわいい動物が描かれたカルタを制作中

現在、シティプロモーションの一環として本市にまつわるカルタを制作中。かわいい動植物園の動物が本市を紹介してくれます。今後の展開をお楽しみに。

▲カルタのイメージです。今後デザインの変更の可能性があります。

市川市動植物園年表

1986年	
11月1日	レッサーパンダ　真真（シンシン）・誠誠（セイセイ）来園
1987年	
8月21日	市川市動植物園の開園
1990年	
12月21日	ミニ SL完成
1991年	
12月20日	レッサーパンダ2号舎完成
1992年	
6月1日	オランウータン　イーバン・スーミー来園
1996年	
4月11日	ボタンインコ来園
1997年	
11月10日	キバタン　キキ来園
1999年	
5月1日	シュバシコウ、初めての孵（ふ）化
2002年	
4月8日	エミュー来園
8月20日	ミニブタ来園
2003年	
4月9日	レッサーパンダ　ナミ来園
9月4日	オランウータン　ウータン生まれる
10月29日	シロテテナガザル　ラーチャ来園
2005年	
6月25日	レッサーパンダ　リンタ・ライチ生まれる
2007年	
8月26日	開園20周年記念式典
2008年	
3月18日	ヤマアラシ来園
6月16日	レッサーパンダ　カイ・ソラ生まれる
6月20日	ニホンザル　オトメ生まれる
2009年	
3月23日	カピバラ来園
7月4日	レッサーパンダ　イチ丸生まれる
9月29日	オカメインコ来園
10月18日	500万人入園記念式典開催
2010年	
2月7日	オランウータン新獣舎完成
3月24日	コツメカワウソ　ナナ来園
4月25日	カピバラはじめての出産
7月16日	オランウータン　リリー生まれる
7月29日	コツメカワウソ　ナナ出産（4頭）
2012年	
7月9日	オリジナル遊具「流しカワウソ」設置
2013年	
6月18日	ケヅメリクガメ　アンディ来園
6月20日	レッサーパンダ　明登（メイト）・優花（ユーファ）・梨花（リーファ）生まれる
2014年	
3月22日	コツメカワウソ舎に握手コーナーを設置
2017年	
5月22日	ワタボウシタマリン　イブ来園
5月23日	ワタボウシタマリン　キング来園
8月15日	モルモットきゃらばん開始
2018年	
2月1日	レッサーパンダ　テル来園
2月24日	オランウータン　ポポ生まれる
6月28日	レッサーパンダ　ココア生まれる
2021年	
4月5日	アルパカ　おはぎ・マシュ・チャッピー来園
12月13日	アルパカ　メイプル・もちち・ホイップ来園
2022年	
3月1日	マイクロブタ来園
3月20日	屋内型新エリア「なかよしルーム」オープン
8月6日	動植物園公式LINEスタンプ販売開始

▶モルモットきゃらばん

施設案内
場 大町284番1
開園時間 午前9時30分～午後4時30分（入園は午後4時まで）
休園日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
¥ 大人440円、小・中学生110円、小学生未満無料